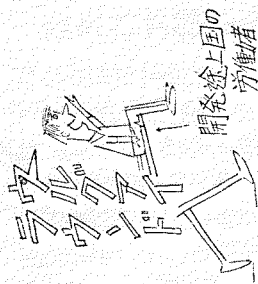


社会戯評

三泰山 種



門戸開放をねらう

も残酷に殺すよりは、野犬を少な
くするもっと良い方法を考えた方
がいいではありませんか。例え
ば動物遺棄に対する取り締まりを
厳しくすること、毒物使用に支出
する費用を去勢手術への補助金に
充てること。

からうか。それなら私たちの地域
ではゴミの減量にも、資源の再利
用にも、少しも協力できないので
はないだろうか……という疑問
や不安がでてきた。

次世代に胸を張って託せる環境
づくりをしたいと誰もが願って
いるとは思いますが、一人ひとりが一
体どんなことをすればいいのか、
どんなことができるのか、が私に
はまだそれはよくかぬ。

できれば、今以上に地方自治体
がそういった面の指導をしてくれ
ればと思います。

捨て犬の薬殺心配

大阪府 エリザベス・オリバー
(大学講師 50歳)

熊勢町は、大阪府内で田園のた
たずまいと魅力がまだまだとめ
る数少ない地域のひとつです。野
生のシカ、キツネ、タヌキ、イタ

チ、イノシシ、鳥などがいたると
ここにすんでいます。

同町では野犬が多くいるという
ことで、野犬を薬殺するためのエ
サを毎年秋に、指定場所に保健所
がおきます。同町には、本当の意
味での野犬はいません。野犬とい
われる犬の多くは、無責任な飼い
主から捨てられた犬です。こうし
た犬は避妊手術を受けていないの
で、いくらでも増えます。

薬剤は猛毒であり、食べた動物
は体内での作用が進むにつれ猛烈
に苦しむことになります。そのこ
え毒の犠牲者は犬だけではなくま
せん。飼っていない野生の生物も等
しく犠牲になります。

カラスは毒に汚染されたエサを
広範囲に運びます。だから実際に
はこれほど多くの動物が毒で死ん
でいるのか想像もつきません。

大阪府は動物を無差別に、しか